【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【公開番号】特開2011-60770(P2011-60770A)
【公開日】平成23年3月24日(2011.3.24)
【年通号数】公開・登録公報2011-012
【出願番号】特願2010-222748(P2010-222748)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ　12/55　　(2011.01)
Ｈ０１Ｒ　12/51　　(2011.01)
Ｈ０１Ｒ　 4/24　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ　 9/09　　Ｂ
Ｈ０１Ｒ　 4/24

【手続補正書】
【提出日】平成25年9月10日(2013.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
絶縁導線を内部に受け入れるようにされ、上面が開放された少なくとも１つの溝を有する本体と、
前記溝を横切るように配向された、互いに対向する刃により形成された絶縁材排除用の第１端部と、前記本体の底面から延びてプリント回路基板と電気的接続するようにされる第２端部とを有する、前記本体に固定された接触要素と、
前記本体上に係合する大きさと形状を有する蓋と、
からなり、
該蓋が、本体に嵌合した状態で本体の溝と整列される底が開放された凹部を有し、該凹部は、前記絶縁されたコア線を最初に受け入れるように形成されており、
前記蓋を本体に押し付けて係合させることによって、前記絶縁導線が前記対向する刃間の前記溝に押し付けられるようにされた
ことを特徴とする電気的絶縁圧接端子コネクタ組立体。
【請求項２】
請求項１のコネクタ組立体であって、前記蓋が本体に嵌合した状態で、前記蓋と本体との間に係合して、不用意に蓋が本体から外れることを防ぐ固定構造を更に含み、前記本体は、両側の縦方向に延びる側壁を含んでおり、前記溝は該側壁内に形成され、前記蓋は、上面と、縦方向に延びる側壁を含み、前記凹部は、前記蓋の側壁の少なくとも１方に形成され、該蓋が本体と嵌合した状態で、前記蓋の側壁が本体の側壁上を滑動して、前記凹部が溝と整列されるようにすることを特徴とする組立体。
【請求項３】
請求項２のコネクタ組立体であって、線貫通型コネクタとして構成され、該線が前記コネクタ組立体を貫通することができるように、前記凹部が蓋の各側壁に形成されていることを特徴とする組立体。
【請求項４】
請求項２のコネクタ組立体であって、線が本体内で端末部を構成するコネクタとして形

成され、該線が前記コネクタ組立体を貫通することが出来ないように前記凹部が前記蓋の側壁の一方のみに形成されていることを特徴とする組立体。
【請求項５】
請求項２のコネクタ組立体であって、前記係合する固定構造が、前記本体に形成された隆起の下に係合する、蓋に形成された弾性突起を含むことを特徴とする組立体。
【請求項６】
請求項２のコネクタ組立体であって、前記蓋は、更に、前記側壁の間で該蓋の上面から下方に延びる内側リブを含み、前記蓋が本体に嵌合した状態で、該リブが前記線を溝内に押すように配置されていることを特徴とする組立体。
【請求項７】
請求項１のコネクタ組立体であって、前記本体は、前記溝内にある前記刃の深さに対して、前記溝内に挿入されて、前記蓋によって前記刃の間に押し付けられた前記線の絶縁部分が、該保持構造の下に押しこまれるようになる位置まで、該溝内に延びる保持構造を含み、更に、前記蓋が本体に嵌合した状態で係合して、不用意に本体から蓋が外れることを防ぐ、前記蓋と本体との間の係合固定構造を含むことを特徴とする組立体。
【請求項８】
請求項７のコネクタ組立体であって、前記本体は、ほぼＴ字型の輪郭断面を有し、前記保持構造が、前記Ｔ字型輪郭の両側の頭部にあるＶ字型受け口と、前記Ｖ字型受け口の間に形成された溝とによって形成され、更に、前記係合固定構造が本体に形成された隆起の下部に係合する、前記蓋に形成された弾性突起を含むことを特徴とする組立体。
【請求項９】
請求項１のコネクタ組立体であって、前記接触要素の第２端部は、プリント回路基板上のパッドに表面実装されるようにされた足部を有することを特徴とする組立体。
【請求項１０】
請求項１のコネクタ組立体であって、前記コネクタは複数線コネクタであり、前記本体と前記蓋は、複数の対応した溝及び凹部を含むことを特徴とする組立体。
【請求項１１】
接触パッドフットプリントが形成されたプリント回路基板と、
前記プリント回路基板に実装され、少なくとも１つの電気絶縁圧接端子コネクタと、を含むプリント回路基板（ＰＣＢ）組立体であって、
前記圧接端子コネクタが、
絶縁導線をその内部に受け入れるようにされ、上面が開放された少なくとも１つの溝を有する本体と、
前記溝を横切るように互いに対向して配向された刃により形成された絶縁材排除用の第１端部と、前記本体の底面から延びてプリント回路基板と電気的接続するようにされる第２端部とを有する、前記本体に固定された接触要素と、
前記本体上に係合する大きさと形状を有する蓋と、
からなり、
該蓋が、本体に嵌合した状態で前記本体の溝と整列されるように底が開放された凹部を有し、該凹部は、前記絶縁されたコア線が最初に押し込まれるように形成されており、
前記蓋を本体に押し付けて係合させることによって、前記絶縁導線が前記対向する刃の間で前記溝に押し付けられ、
前記蓋が本体に嵌合した状態で、前記蓋と本体との間に係合して、不用意に本体から蓋が外れることを防ぐ固定構造を更に含み、前記係合固定構造が、前記本体に形成された隆起の下部に係合するように、前記蓋に形成された弾性突起を含む
ことを特徴とするプリント回路基板（ＰＣＢ）組立体。
【請求項１２】
請求項１１のＰＣＢ組立体であって、前記本体は、両側で縦方向に延びる側壁を含み、前記溝は該側壁内に形成され、前記蓋は、上面と、縦方向に延びる側壁とを含み、前記凹部は、前記蓋の前記側壁の少なくとも１方に形成され、該蓋が本体と嵌合した状態で、前

記蓋の側壁が本体の側壁上を滑動して、前記凹部が溝と整列されるようにすることを特徴とする組立体。
【請求項１３】
請求項１２のＰＣＢ組立体であって、線貫通型コネクタとして構成され、前記線が前記コネクタ組立体を貫通することができるように、前記凹部が蓋の前記側壁の各々に形成されていることを特徴とする組立体。
【請求項１４】
請求項１２のＰＣＢ組立体であって、線が本体内で末端部を形成するコネクタとして構成され、前記線が前記コネクタ組立体を貫通することが出来ないように前記凹部が前記蓋の前記側壁の一方のみに形成されていることを特徴とする組立体。